

# いろいろなキャンペーンを利用した読書習慣の向上に向けた取組の事例

**学校名** 熊谷市立大原中学校  
**所在地** 熊谷市大原3-4-1  
**電話** 048-521-0049

## 1 本校の概要

本校は、昭和22年に開校し、今年で79年目になる伝統ある学校である。生徒数は230名で、3年生2学級、2年生2学級、1年生2学級、特別支援2学級の小規模校である。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・ a 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ e 学校図書館等の環境整備の工夫

### (2) 実践の概要

#### ア 図書室に関する紙面の作成

- ・ 図書室案内リーフレット

新入生の図書室利用や進級した2、3年生に向けた図書室ガイドンス等で使える図書室案内を作った。書架や貸し出し・返却の手順を記載し、全校生徒に紙面を配布した。室内図を載せ、どの書架にどんな本があるかを一目でわかるようにした。



- ・ 図書だよりの発行

毎月1回発行することを目指し学校図書館担当が実施している。情報発信に力を入れることができた。生徒の手による図書だよりの発行も検討したい。

- ・ 利用集計

競い合って読書量が増えることを目指し、月ごとの生徒会図書委員会で各学級の貸し出し冊数の集計を行った。また結果をグラフにして図書だよりに掲載した。

#### イ 長期休暇の図書室開放

夏休みの図書室開放を、今年度は4日間行った。時間は9時～13時で、本の貸し出し・返却だけでなく自習も可能とした。夏休みのしおりに開室連絡を載せた。

#### ウ 室内展示の充実及び工夫

季節の展示スペースを作り、月ごとにテーマを変えて本の展示をしている。毎月年中行事の本を展示した。その他にも、本屋大賞コーナー、読書感想文

コーナー、ビブリオバトルチャンプ本コーナー、本の帯コンテスト優秀作品掲示など、生徒の学習に合わせて展示できた。



#### エ 貸し出しキャンペーンの実施



今年度の貸し出しキャンペーンとして、「読書の木キャンペーン」(7月)と「クリスマスキャンペーン」(12月)、「福袋キャンペーン」(1月)の三つを実施。

「読書の木キャンペーン」は貸出し数に応じてリンゴの木に葉っぱと実を实らせる競い合いをクラス対抗で実施し、優勝特典として貸出冊数を増やした。

「クリスマスキャンペーン」は、期間中本を借りた生徒にしおりをプレゼントするキャンペーンである。

「福袋キャンペーン」は、図書委員が選んだ本を入れた福袋をそのまま貸し出すキャンペーンである。図書委員の活動としても「本を知り、本の内容を考え、本を選ぶ」ことができ、有意義である。

#### オ 朝学習の取り組み

学年の実態に合わせて、短編本や新聞記事などの読み取りと聞き取りを行った。学校の図書室から本を選んだ。



## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

本の展示により、来室した生徒の目を引き、本を手取る生徒の姿が見られた。キャンペーンの実施時には来室人数が増え、シリーズ作品を手取る生徒の姿も見られた。

### (2) 課題

図書委員による本の棚戻しが、よりスムーズに行えるよう表示をさらに見やすく統一したい。夏休みの図書室開放利用者が少なかったため、情報発信等、工夫したい。

### (3) おわりに

今後も、「誰でも楽しく利用できる図書室」を目指し、学校図書館運営に努めていきたい。